

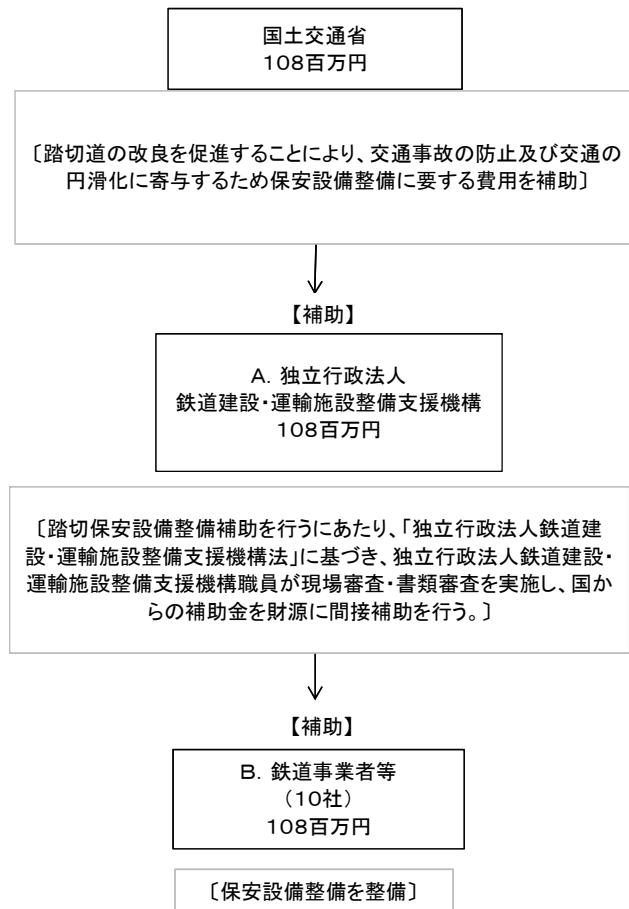
平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	踏切保安設備整備		担当部局庁	鉄道局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S36年度～		担当課室	施設課		課長 潮崎 俊也	
会計区分	一般会計		施策名	14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	踏切道改良促進法 第8条		関係する計画、通知等	交通安全基本計画 (平成23年3月31日 中央交通安全対策会議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	踏切道の改良を促進することにより、交通事故の防止及び交通の円滑化に寄与するため						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	踏切道改良促進法に基づく、踏切遮断機・警報機、踏切警報時間制御装置及び高規格化保安設備の整備について、鉄道事業者が負担する事業費の一部を国(1/2または1/3)及び地方公共団体(1/3)が補助する						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	160	152	149	107	
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	160	152	149	107	
	執行額	131	85	108			
執行率 (%)	82.0%	55.9%	72.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年	22年	23年	目標値(27年)
	平成27年までに踏切事故件数を平成22年と比較して約1割削減することを目指す(第9次交通安全基本計画)		成果実績 踏切事故件数	327件	314件	集計中	280件
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	踏切保安設備の整備箇所数		活動実績 (当初見込み) 箇所	28	13	15	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	踏切保安設備整備費	107					
	計	107	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	踏切事故は鉄道の運転事故の約4割を占めている状況にあり、改良すべき踏切道がなお残されている現状にあるため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	踏切道改良促進法の保安設備の整備の指定基準にもとづいた踏切道に限定している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	4種踏切の1種化、障害物検知装置などの整備などにより、踏切の安全対策の向上、踏切事故の減少に寄与している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 踏切事故防止の効果が高く、国が支援すべきと考えられる事業個所を厳選して事業を実施。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

※平成23年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.独立行政法人鉄道施設・運輸施設整備支援機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	保安設備設置	108			
計		108	計		0
B.北海道旅客鉄道(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	保安設備設置	36			
計		36	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人鉄道施設・ 運輸施設整備支援機構	補助対象事業者に対する補助金交付	108	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道旅客鉄道(株)	踏切保安設備整備	36	-	-
2	九州旅客鉄道(株)	踏切保安設備整備	22	-	-
3	いすみ鉄道(株)	踏切保安設備整備	10	-	-
4	上毛電鉄(株)	踏切保安設備整備	9	-	-
5	富山地方鉄道(株)	踏切保安設備整備	7	-	-
6	上信電鉄(株)	踏切保安設備整備	6	-	-
7	秩父鉄道(株)	踏切保安設備整備	5	-	-
8	関東鉄道(株)	踏切保安設備整備	5	-	-
9	新京成電鉄(株)	踏切保安設備整備	4	-	-
10	島原鉄道(株)	踏切保安設備整備	4	-	-